

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市若葉台地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

【高齢者】高齢化率の高い地域でありながら、介護認定率が低く元気な高齢者の多い街として注目されている一方で、高齢者人口の増加に伴い、介護保険認定申請等の相談が増えている。昨年度に比べて介護サービスを利用している高齢者は、約 1.5 倍近くに増加している。地域の見守りの意識は高く、民生委員をはじめとした地域の見守りから受ける高齢者夫婦の介護問題に加え、子のひきこもりやゴミ屋敷問題など複雑に絡んだ相談内容が増えている。

【こども】若葉台みらいづくりプラン推進プロジェクトにより「子ども憲章」が作成された。若葉台団地管理組合と子育て支援活動団体が、子育て世代と協力して棟下のエントランスを多世代交流の場として解放しイベントを開催した。地域ケアプラザとしてこれまでも子育て支援活動団体の支援を行ってきたが、世代交代問題など新たな課題に直面している中、地域で子育て世代をめぐる取組が、今後どのように継続されていくのか、そのニーズの把握と仕組み作りの検討など、地域と協力して行っていく必要がある。

【障がい児・者】地域内にある作業所や、障がい児・者団体と地域住民を繋ぐ機会を増やし、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進できるように関わりを続けている。一口に障がい児・者と言っても、地域住民にどの程度理解され受け入れられるのか、まだまだ課題がある。昨年、災害時に於ける障がい児・者の理解と災害時の対応について、民生児童委員などの地域住民を対象に勉強会を開催したが、今後もそういった事業を積極的に行っていきたい。

【その他】認知症と思われる方が増えて、ご家族が疲弊しているケースも多い。地域全体で支えられる仕組みづくりとして、認知症サポーター養成講座を小学生や中学生を含めた地域住民を対象に開催し、より多くの人に認知症についての理解を深めてもらう機会を増やしている。

今後も地域内の企業なども対象に行っていく必要がある。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

【高齢者】介護保険認定申請が増えている。コーディネーターが地域を回って受けた相談を地域包括支援センター職員に繋げたり、民生委員からの直接の相談に対応した。介護支援専門員が関わるケースで、ご利用者とひきこもりの子どもが同居しているなど複合的なケースには、地域包括支援センター職員が担当の介護支援専門員を支援した。

【子ども】子育て世代を支援する活動団体や、子育て中の世帯との情報共有や意見交換の場に積極的に参加した。地域ケアプラザが、子育て世代を支援する役割があることを積極的に周知に努めた。

【障がい児・者】精神障がい者サロン「もぐもぐ」を開催した。わかば学園のパン販売の活動支援や実習生の受入れ、地域の作業所の作品をケアプラザ内で展示したり、福祉フェアに参加してもらうなど、障がい児・者と地域住民を繋げられるような取組を行った。また、情報を共有できる関係づくりに努めた。

【その他】数年間コミュニティハウスでの出張相談を継続してきたが、相談者の数が殆ど無く、今後の方向性について検討している。

(2) 各事業の連携

- ・毎月五職種会議を開催し、それぞれの業務について情報を共有し、連携できるように協力体制を強化した。
- ・高齢者の事業に於いて、対象とする方のイメージを共有して内容を検討するなど、事業の目的や内容について適宜検討した。
- ・若葉台中学校「地域交流の日」での福祉体験授業の実施やボランティア交流会など、五職種が協力して事業を開催した。
- ・サービス B 実施団体の活動を生活支援コーディネーターが中心となり、五職種で共有が必要な情報を提供し、地域包括支援センターと協力して円滑な事業実施を支援した。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・年間を通して、職員配置を安定した状態で運営できた。
- ・適宜研修に参加して、個々のスキルアップを図り、また、その情報を職員間で共有することにより、業務に活かせるようにした。
- ・相談者には公正・中立に努め、適切な情報を提供した。
- ・各業務に於いてアンケートを実施した。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・神奈川県住宅供給公社とまちづくりセンター、連合自治会、地区社協、民生児童委員やかがやきクラブ、ボランティア活動団体など、地域の様々な活動団体が出席するみらいづくり協議会に出席して、情報を共有すると共に顔の見える関係づくりを積極的に行った。
- ・ボランティア交流会については、個人と活動団体を繋ぐ機会として開催し、個人のボランティアの活動の場を広げられるきっかけになった。
- ・各自治会やかがやきクラブの集会、イベントに訪問して、地域ケアプラザの周知と地域の情報共有を行った。
- ・「ケアプラザだより」を年 4 回、若葉台団地全戸に配布したほか、事業のお知らせを毎月発行し、地域の関係機関に配架した。

(5) 区行政との協働

- ・地域福祉保健計画の推進に向けて、支援チームとして区や区社協と協力して、推進団体である若葉台地区社協の理事会や役員会などに出席して積極的に意見交換した。
- ・「きらっとあさひ福祉大会」や「ウォーキングイベント」、「旭区民まつり」など区や区社協が開催する事業開催の準備や運営に協力した。
- ・それぞれの職種の連絡会などに出席して、他ケアプラザ職員との情報共有と意見交換を行い、当ケアプラザの業務に活かした。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・高齢者の健康維持に繋がる体操やノルディックの事業・コンサート等を実施している。
- ・地域内での子育てをその親のみならず祖父母や地域の力を合わせて行えるように、孫育て講座を実施した。
- ・子育て世帯の悩みに応えられるよう、子育て中の方々の声を直接聞き取りして協働して企画を立案し、地域内の講師に依頼して保育付きピラティス連続講座を実施している。併せて地域の活動グループにその保育を依頼することで、その活動の安定化・自立化に協力をしている。
- ・クールシェア「ク〜ルく〜る広場」を子育て世帯向けに実施、その中で多数の地域内活動者や地域内他機関の講座修了者等に講師等をお願いし、子育て世帯のみならず地域の方々との関係を深めている。
- ・ボランティアの力を活用し、精神障害を持つ方が安心して楽しめる場所としてサロンを継続して開催している。
- ・地域の民生委員児童委員等住民とケアプラザ職員が障害への理解を深め情報を共有できるよう、発達障害等の理解と災害時の対応について勉強会を実施した。
- ・実習の受け入れ・パン販売等のみならず地域内の小・中学校、高校と連携し、当施設内または学校へ出向き、福祉についての講話や体験を実施している。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・登録利用団体に向けた説明会を実施し、貸館を利用しやすいよう説明・案内を実施した。
- ・地域への広報の中で貸館について案内を行い、活動の場を求めている人が訪れやすいようにしている。
- ・登録利用団体による発表会を実施し、日頃ケアプラザで活動をする趣味団体等がより意欲をもって活発に活動できるよう働きかけた。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・よこはまシニアボランティアポイント研修会を年4回実施し、ボランティア活動へのきっかけとなるよう聞き取り・記録を実施している。
- ・事業が地域のボランティアの活動の場所となるよう企画・実施をし、地域に対してボランティア活動の周知、活性化を行っている。
- ・個人のボランティアの希望に沿った活動の紹介を行えるように希望や意向を伺い記録をしている。
- ・自治会が求めているボランティア活動を聞き、地域で活動するグループとのマッチングを行っている。
- ・ケアプラザ他職種と連携のもと、ボランティア活動者の交流と情報交換、活動の機会の拡充を図り、ボランティア交流会を実施している。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・地域福祉保健計画の推進を行う地区社協の部会について、支援チームとして区役所・区社協・生活支援コーディネーターと協力し、地域に対しての情報提供を行うとともに参加者と話し合う機会を多く持ち関わりを深めている。
- ・子育てささえあい連絡会運営委員会に参加をし、地域で活動する団体と子育てについての課題や情報の共有を図り、活動の協力を行うとともに事業に活かしている。
- ・地域の子育てニーズに応えるために活動をする保育ボランティアグループについて、事務局会議に参加し情報提供を行うとともに、事業の協力を得るなどしながらその活動が活発になり安定化するよう支援を行っている。
- ・地域で活動するボランティアグループの活動の機会、周知、育成に繋がるよう事業の実施を行っている。
- ・当施設についてわかりやすく説明をしたリーフレットを作成し、地域内の全戸に配布を実施した。
- ・年4回発行し地域内に配架をする広報紙に加えてケアプラザでの活動の情報が掲載されている紙面を毎月発行し、地域内の主要な機関にて配架を行っている。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・地域の会議等に参加し、地域情報・課題の共有に努めた。また、地域の会合や広報誌紙面でケアプラザ事業紹介の機会を得た時は、生活支援体制整備事業について周知した。
- ・地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの五職種で毎月会議を行った。地域情報を共有し、各部門の取組に活かせるよう検討した。
- ・ボランティア関連の講座を五職種で検討し実施した。昨年度のアンケート結果をもとに、『傾聴』『個人情報保護』『救命救急』の3講座を開催した。
- ・旭区生活支援コーディネーター連絡会で他の地域ケアプラザと情報交換の場を持った。また、区役所、区社協とは必要に応じて話し合いの場を設け、地域課題や事業の進捗状況などを確認した。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・これまで把握してきた地域の取組や課題等を自治会単位のアセスメントシートにまとめ、五職種、区役所、区社協と共有し、今後の地域への働きかけについて検討した。また、アセスメントシートに基づき、各自治会の見守りの取組や移動の課題を中心に、役員等にヒアリングを行った。
- ・シニアボランティアポイント登録研修やボランティア講座開催時に地域のボランティア活動を紹介し、実際の活動につながるよう支援を行った。また、既に活動している方の活動の幅が広がるよう働きかけた。
- ・サービスB手引きのポイントや実施団体の活動状況を職員会議等で共有した。また、必要に応じて、要支援者等が利用している地域資源の情報を地域包括支援センターやケアマネジャーに提供した。

(3) 連携・協議の場

- ・未来づくり協議会、みらいづくりプラン推進会議等の地域の会議に出席し、地域の情報・課題等の把握に努めた。必要に応じて、ケアプラザで把握している人口動向、要介護認定率や最近の総合相談の傾向などの情報を提供した。
- ・第3期地域福祉保健計画の話し合い（地区社協地域福祉保健部会）に支援チームとして出席し、計画の推進を支援した。昨年度より継続して『孤立防止』について話し合い、『孤立』のイメージを共有することができた。その過程を「きらっとあさひ福祉大会」で報告した。
- ・今年度の地域ケア会議は『一人暮らしの高齢男性の生活支援』をテーマに開催した。それを受け、3月には「男性のための井戸端会議」と題し、一人暮らしの高齢男性、民児協、地区社協、連合自治会等の方々が集い、生活の様子や地域の情報などを話し合った。
- ・サービスBを実施している認定NPO法人若葉台に定期的に足を運び、活動状況の把握に努めた。その情報を区、区社協等と共有し、支援の方向性を確認しながら、必要に応じて団体との話し合いの場を持った。同時に通所型支援、訪問型支援、見守り支援の各コーディネーターと個別の打ち合わせの機会を持ち、サービスBが円滑に進められるよう支援を行った。また、他地区の情報をサービスB地域ケアプラザ意見交換会で把握し、団体へ提供した。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・旭区内の生活支援コーディネーターが連携し、以下の3連絡会を行っている。『サロン連絡会』では、サロンを運営するボランティアと楽器演奏などの趣味活動を活かしたボランティアとをマッチングする活動等を行った。『食事サービス連絡会』では「参加希望者が会場まで行くことができない」など活動団体だけでは解決できない地域課題が出てきたため、団体と地区社協との連携を目的とした情報交換会を実施した。『ちょこっとボランティア連絡会』では、区内で既に活動を実施している団体の話を伺い、グループワークで各団体の取組などの情報交換を行った。3連絡会で得られた情報を若葉台地区の各団体にも共有した。
- ・地区社協分科会に出席し、区内の地区社協の取組や課題等を把握した。得られた情報について若葉台地区社協の役員と意見交換する機会を持った。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・ 関係機関との連携が取れるように各種地域団体の会議等に参加した。
- ・ いくつかの困難事例の対応を通して、住民（知人、棟長）、民生委員、インフォーマルサービス、区（高齢障害、生活支援）、区社協、介護保険サービス事業所等と一緒に動くことで役割の確認や連携を深めた。
- ・ 地域包括支援センターの役割について、かがやきクラブの訪問や自治会の会合で周知のチラシを配布して説明を行った。

② 実態把握

- ・ 高齢化率が高い割に介護保険の認定率が低い地域ということで、色々なところからの調査質問を受けた。そのことをきっかけに、地域の実態に対する関心が所内でさらに高まった。地域としても色々なアンケートを行っているので、それにも関心を持ち、五職種で情報を共有した。
- ・ 相談の内容や事業のアンケートからニーズを把握した。
- ・ 地域の催しや会合に参加し、直接住民から情報を得た。
- ・ 生活支援コーディネーターと地域のインフォーマルサービスの実情の情報を共有し、課題等について話し合った。

③ 総合相談支援

- ・ 様々な相談を受け、必要があればすぐ訪問し、内容を的確に把握できるように努めた。
- ・ ケアプラザから遠い所への定期的な出張相談（コミュニティハウス利用）を月1回通年で行った。
- ・ 相談内容に応じて適切な情報を提供し、関係機関や制度に繋げた(今年度は、生活支援課、精神科病院につなげるケースが多かった)。
- ・ 民生委員等地域の関係機関から情報があり支援が必要と判断した場合は、積極的に訪問を行った。
- ・ 必要に応じて継続的にフォローし、区役所とも情報を共有した(精神障害者、ゴミ屋敷問題等を含む)。
- ・ 高齢世帯にいる障害を持つ子供の親なき後の不安に対して、「障害者後見的支援室絆」に繋いだ。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 旭区版エンディングノートを活用して講座（3回シリーズ）を開催。その中で成年後見制度説明も行い普及啓発を行った。
- ・ 成年後見制度について知りたいと相談に来られた方に制度説明と申し立ての案内を行った。
- ・ 認知症の一人暮らしで成年後見制度の活用が必要と思われる方の申し立て支援を弁護士と相談して行った。
- ・ かがやきクラブの定期訪問でオレオレ詐欺の新型手口や消費者被害について話し、注意喚起を行った。
- ・ 本人の意思に反した購入契約をしてしまった方へ消費者生活センターへの連絡やクーリングオフについての説明を行った。
- ・ 日常生活自立支援事業（あんしんセンター）が必要と思われる方は、区社協に繋いだ。
- ・ 認知症で金銭管理に問題がありそうな方について郵便局と連携を取る関係が出来ている。

② 高齢者虐待への対応

- ・ 民生委員やケアマネジャー、サービス事業所等と情報交換を行い、虐待につながりそうなケースの早期発見に努めた(介護放棄のようなものも含む)。また、原因(介護力の問題、経済的な問題)を考え、支援の方向を検討した。
- ・ 虐待に関係のありそうな事案がある際は、所内各部署と協議し、区とも連携を取り対応した。
- ・ 介護者のつどい等に参加することで、介護疲れを相談しやすいようにした。

③ 認知症

- ・ 認知症サポーター養成講座を実施した(地域住民向け・中学生向け)。
- ・ 「旭区もの忘れ相談シート」を活用し、精神科病院の受診が円滑に行えるようにした(事前に情報提供する場合、受診同行時)。
- ・ 受診手続きが難しい方を「もの忘れ外来」に繋げたり、家族のいない人には、受診同行をした。
- ・ 認知症初期集中支援チームの会議に出席して支援体制のネットワークの構築に努めた。
- ・ 認知症カフェ「けあぶらカフェ いこい」を月1回開催し、認知症を含む色々な方が交流できる場を提供した。
- ・ アルツハイマーデイに施設内にコーナーを設け認知症についての正しい理解の促進に努めた。
- ・ 徘徊をしてしまう方について、家族や関係機関に SOS ネットワークシステムの説明を行い、登録をしてもらった。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・かがやきクラブや自治会の会合、また、地域で活動する団体へ、介護保険やケアマネジャーの役割についての説明を行い、支援が必要な際の流れの周知を行った。
- ・生活支援コーディネーターと連携を取りながら地域資源の情報収集に努め、必要なケアマネジャーに情報提供を行った(サービスB「ひまわり」等)。
- ・民生委員と頻繁に関わりを持ち、情報の共有を行った。必要があるケースは同行訪問を行った。
- ・地域ケア会議等において、ケアマネジャーと民生委員、自治会等、地域住民やボランティア団体が情報を交換できる機会を作った。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・協力医と地域のケアマネジャーが関係を深められるよう懇親会を開催し、情報を交換し合える機会を作った。
- ・地域内クリニック3名の医師とケアマネジャーの情報交換会を開催した。
- ・相談者に「旭区もの忘れ相談シート」を紹介し、受診時に医師に症状を伝える際に活用してもらった。
- ・旭中央病院と共催で市民公開講座を開催し、医師等に講演をしてもらった。
- ・MSWとの連携を強化し、連絡を取り合うことが増えた(入退院時、もの忘れ外来受診の相談等)。
- ・3ケアプラザ共催のケアマネジャー連絡会に在宅医療相談室の方にも出席してもらい連携を図った。

③ ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーから相談を受けた場合は、プランの見直し等丁寧に対応することを心がけた。また、居宅会議に定期的に参加し、支援・連携に努めた。
- ・サービス担当者会議の開催に際して支援を行った。
- ・困難事例について、ケアマネジャーと密に連絡を取り、必要があれば同行訪問した。(在宅生活 ぎりぎりの事例等)
- ・緊急対応が必要なケースはケアマネジャーと一緒に対応した。
- ・川井・笹野台地域ケアプラザと共催でケアマネジャー連絡会を開催した。テーマについては、ケアマネジャーが関心を持てるものを選んだ。
- ・旭区全ケアプラザの主任ケアマネジャーと協力して、新任・就労予定ケアマネジャー向けの研修や主任ケアマネジャー交流会を行った。
- ・旭ケアネットの後方支援を行った。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・「地域ケア会議」で地域内の様々な関係機関に声をかけ、それぞれの立場から意見を出してもらった。意見交換により、地域の多職種協働のネットワークを意識してもらう機会となった。今年度は、「一人暮らし男性の支援」をテーマに個別レベルの地域ケア会議を開催した。本人にも出席していただき直接話を伺うことで、食事や閉じこもりの問題が見えてきた。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 要支援者へのケアプラン作成に関して、ケアマネジャーから相談があれば、目的志向型の介護予防ケアマネジメントの理念を説明した。
- ・ 適切なケアマネジメントができるよう研修に参加し、内容を所内職員間で共有した。
- ・ エリア内ケアマネジャーに介護予防ケアマネジメントについての研修や介護予防・日常生活総合事業についての説明を行った。
- ・ エリア内のサービス B 事業所など地域のインフォーマルサービスについての情報を伝えた。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ エリア内高齢者の活動の場（かがやきクラブの定例会、茶話会等）に出向いて、情報収集を行うとともに、体操や脳トレ、口腔ケア等のミニプログラムを提供して、介護予防の考え方の普及に努めた。
- ・ 「GoGo 健康講座 2018」「男性のための GoGo 健康講座」を開催し、ロコモ予防、コグニサイズ、口腔、栄養のプログラムで介護予防の一般知識を取得してもらった。
- ・ 「歌って健康」は、音楽療法士による介護予防講座として通年開催した。
- ・ 「ゆっくりノルディック」は、地域活動交流コーディネーターと協働し、対象者や次へのステップ へのつながり方などを検討しながら行った。
- ・ 月 1 回のコミュニティハウス出張相談の前半 1 時間を「コミハ健康講座」とし、体操や脳トレ等で閉じこもり予防の場づくりに努めた。
- ・ ケアプラザを会場として活動をしている自主グループに対して、体協の講師による講演や活動の評価ができるよう体力測定を開催した。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 修繕費執行管理シートを作成して、施設設備の計画的な小破修繕に努め、安全に利用できる施設運営を行った。
- ・ グリーンカーテンや電気量管理システムにより、光熱費の削減など省エネに努めた。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 掲示物をより見やすく、わかりやすくするために掲示内容を種類別に掲示した。
- ・ 光熱費削減の為、高圧電気の購入先を検討し変更した。
- ・ 管理に於いて、必要に応じてあい見積もりをとり経費削減に努めた。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 苦情受付窓口の周知を行った。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 消防訓練や防災訓練を実施した。
- ・ 施設の消防点検を年2回行った。
- ・ 行政との緊急時の連絡体制や、必要な備品を整備した。
- ・ 連合自治会の防災訓練に参加し、地域の防災本部との連携について検討した。

(5) 事故防止への取組について

- ・ ヒヤリハットやインシデントにより、事故防止の為に情報を共有した。
- ・ 事故防止マニュアルを壁に貼り、常に意識できるようにしている。
- ・ 事故発生原因を振り返り、検討し再発防止に努めた。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報保護について研修を適宜行った。
- ・ 個人情報の漏洩予防の為、情報の管理や提供についてマニュアルを作成し実践に努めた。

(7) 情報公開への取組について

- ・ 第三者委員や情報公表制度を利用した情報公開を行った。
- ・ ホームページやブログなどインターネットを活用した情報公開をしている。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ かがやきクラブの集会などで、振り込め詐欺被害や消費者被害のパンフレットを配布し注意喚起した。
- ・ エンディングノート活用講座の中で成年後見制度について説明した。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ ゴミ分別の徹底とエコキャップなどの資源ゴミの回収に取り組んだ。
- ・ フロンガス発生機器の点検を定期に実施した。
- ・ レジオネラ菌の発生防止に取り組んだ。
- ・ インフルエンザ等感染症予防について、職員研修、地域住民への注意喚起をした。また、空気清浄機能付加湿器を複数設置した。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- 保健師・・・・・・・・・・常勤2名（1名育児休暇）
- 社会福祉士・・・・・・・・常勤2名
- 主任介護支援専門員・・・常勤1名

《目標に対する成果等》

- ・要支援者へのケアプラン作成に関して、ケアマネジャーから相談があれば、目的志向型の介護予防ケアマネジメントの理念を説明した。
- ・適切なケアマネジメントができるように研修に参加し、内容を所内職員間で共有した。
- ・エリア内ケアマネジャーに介護予防ケアマネジメントについての研修や介護予防・日常生活総合事業についての説明を行った。
- ・エリア内のサービスB事業所など地域のインフォーマルサービスについての情報を伝えた。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
101	100	107	112	114	117
10月	11月	12月	1月	2月	3月
117	122	123	123	120	120

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

主任介護支援専門員・・・2名（常勤専従、常勤兼務）
 常勤介護支援専門員・・・3名
 非常勤介護支援専門員・・・1名

《目標に対する成果等》

在宅生活に於けるご利用者の尊厳を守り、出来るだけ長く地域でその人らしい生活ができるように支援する。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご利用者やその家族の気持ちに寄り添って支援している。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
163	167	163	161	158	165
10月	11月	12月	1月	2月	3月
164	164	164	163	163	163

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 食事 ● 個別機能訓練 ● 入浴
- レクリエーション ● 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 703 円
 - （要介護2） 830 円
 - （要介護3） 962 円
 - （要介護4） 1094 円
 - （要介護5） 1226 円
- 食費負担 720 円
- 入浴 54 円
- 機能訓練加算 60 円
- 中重度加算 48 円
- 認知症加算 65 円
- レクリエーション材料費 50 円～600 円
- 処遇改善加算 18 円～30 円

《事業実施日数》 ①月曜日～土曜日 週6日
 ②日曜日 週1日

《提供時間》 ①9：15～16：15
 ②9：15～12：30

《職員体制》 管理者(常勤兼務)1名
 相談員(常勤兼務)3名
 常勤介護職員 5名
 非常勤介護職員 18名
 非常勤看護師(機能訓練指導員兼務) 9名
 ドライバー 8名
 調理員 4名

《目標に対する成果等》

- 機能訓練を実施して転倒や認知症の進行を予防する。
- ご利用者ができるだけ在宅生活を継続できるように支援する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 手作りの美味しい昼食と職員の笑顔でお迎えしている。
- 日曜日のサービス終了後に理美容サービスを実施している。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
662	686	670	739	736	671
10月	11月	12月	1月	2月	3月
691	644	546	588	536	593

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 食事
- 入浴
- 個別機能訓練・レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （週1回ご利用者） 2084 円
 - （週2回要支援2） 4016 円
- 食費負担 720 円
- 処遇改善加算 46 円～88 円
- レクリエーション材料費 20 円～600 円

《事業実施日数》 ①月曜日～土曜日 週6日
②日曜日

《提供時間》 ①9:15 ～ 16:15
②9:15 ～ 12:30

《職員体制》 通所介護と兼務

《目標に対する成果等》

- ご利用者の在宅生活での課題を解決できるように支援する。
- 個別機能訓練を実施して転倒や認知症を予防する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 手作りの美味しい昼食と職員の笑顔でお迎えます。
- 日曜日のサービス時間終了後に、理美容サービスを実施している。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
48	44	47	56	39	48
10月	11月	12月	1月	2月	3月
41	55	51	53	43	39

平成30年度「横浜市若葉台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,734,000	0	13,734,000	13,695,091	38,909	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	646,500	△ 646,500	
自主事業収入			0		0	
雑入	0		0	39,107	△ 39,107	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	13,542	△ 13,542	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	25,565	△ 25,565	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	17,724,000	0	17,724,000	18,370,698	△ 646,698	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,000,000	0	9,000,000	10,298,420	△ 1,298,420	
本俸	5,950,000		5,950,000	6,512,128	△ 562,128	
社会保険料	670,000		670,000	945,097	△ 275,097	
手当計	2,310,000		2,310,000	2,723,764	△ 413,764	
健康診断費	10,000		10,000	8,516	1,484	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	60,000		60,000	108,915	△ 48,915	
その他	0		0	0	0	
事務費	640,000	527,636	1,167,636	2,553,062	△ 1,385,426	
旅費	30,000		30,000	30,308	△ 308	
消耗品費	110,000		110,000	962,015	△ 852,015	
会議賄い費	10,000		10,000	9,936	64	
印刷製本費	10,000		10,000	1,992	8,008	
通信費	65,000		65,000	65,557	△ 557	
使用料及び賃借料	0	0	0	4,200	△ 4,200	
横浜市への支払分	0		0	4,200	△ 4,200	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	150,000		150,000	501,403	△ 351,403	
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	
施設賠償責任保険	65,000		65,000	256,690	△ 191,690	
職員等研修費	20,000		20,000	21,038	△ 1,038	
振込手数料	10,000		10,000	7,884	2,116	
リース料	94,000		94,000	99,403	△ 5,403	
手数料	6,000		6,000	0	6,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	65,000	527,636	592,636	592,636	0	
事業費	1,380,000	0	1,380,000	1,096,992	283,008	
運営協議会経費	42,000		42,000	20,000	22,000	
指定管理料充当 事業	1,338,000		1,338,000	1,076,992	261,008	
管理費	5,984,000	0	5,984,000	6,542,104	△ 558,104	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	3,489,000	0	3,489,000	3,912,342	△ 423,342	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	420,000		420,000	484,239	△ 64,239	
修繕費	474,000	0	474,000	435,091	38,909	
機械警備費	260,000		260,000	149,072	110,928	
設備保全費	1,341,000	0	1,341,000	1,443,556	△ 102,556	
空調衛生設備保守	600,000		600,000	296,502	303,498	
消防設備保守	60,800		60,800	47,780	13,020	
電気設備保守	409,000		409,000	321,079	87,921	
害虫駆除清掃保守	60,000		60,000	35,835	24,165	
駐車場設備保全費	40,000		40,000	0	40,000	
その他保全費	171,200		171,200	742,360	△ 571,160	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	117,804	△ 117,804	
公租公課	720,000	0	720,000	823,873	△ 103,873	
事業所税			0	0	0	
消費税	720,000		720,000	823,873	△ 103,873	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	17,724,000	527,636	18,251,636	21,314,451	△ 3,062,815	
差引	0	△ 527,636	△ 527,636	△ 2,943,753	2,416,117	

自主事業費収入			0	646,500	△ 646,500	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	1,076,992	△ 1,076,992	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 430,492	430,492	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	13,542	△ 13,542	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	4,200	△ 4,200	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	9,342	△ 9,342	

平成30年度「横浜市若葉台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	28,809,000	0	28,809,000	28,798,654	10,346	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	103,400	△ 103,400	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	4,000	△ 4,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	4,000	△ 4,000	
その他（提案時控除 法人負担分）	0		0	0	0	
収入合計	34,749,000	0	34,749,000	34,846,054	△ 97,054	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,160,000	0	31,160,000	24,772,577	6,387,423	
本俸	20,000,000		20,000,000	14,720,646	5,279,354	
社会保険料	4,600,000		4,600,000	2,954,767	1,645,233	
手当計	6,330,000		6,330,000	6,715,371	△ 385,371	
健康診断費	30,000		30,000	35,968	△ 5,968	
勤労者福祉共済掛金	100,000		100,000	0	100,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	345,825	△ 245,825	
その他	0		0	0	0	
事務費	360,000	0	360,000	896,296	△ 536,296	
旅費	25,000		25,000	39,268	△ 14,268	
消耗品費	195,200		195,200	178,596	16,604	
会議賄い費	3,000		3,000	6,984	△ 3,984	
印刷製本費	15,000		15,000	17,928	△ 2,928	
通信費	29,000		29,000	167,049	△ 138,049	
使用料及び賃借料	4,200	0	4,200	4,200	0	
横浜市への支払分	4,200		4,200	4,200	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	341,752	△ 341,752	
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	
施設賠償責任保険	46,600		46,600	35,790	10,810	
職員等研修費	20,000		20,000	76,318	△ 56,318	
振込手数料	2,000		2,000	1,988	12	
リース料	0		0	26,423	△ 26,423	
手数料	10,000		10,000	0	10,000	
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	
その他	0	0	0	0	0	
事業費	1,640,000	0	1,640,000	1,053,921	586,079	
協力医	630,000		630,000	630,000	0	
指定管理料充当 事業（包括）	550,000		550,000	168,346	381,654	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	154,033	△ 3,033	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	101,542	207,458	
管理費	1,589,000	0	1,589,000	1,739,027	△ 150,027	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	960,000	0	960,000	1,039,989	△ 79,989	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	126,000		126,000	128,720	△ 2,720	
修繕費	126,000		126,000	115,654	10,346	
機械警備費	30,000		30,000	39,626	△ 9,626	
設備保全費	347,000	0	347,000	383,724	△ 36,724	
空調衛生設備保守	78,000		78,000	78,816	△ 816	
消防設備保守	10,000		10,000	12,700	△ 2,700	
電気設備保守	80,000		80,000	85,348	△ 5,348	
害虫駆除清掃保守	8,000		8,000	9,525	△ 1,525	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	171,000		171,000	197,335	△ 26,335	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	31,314	△ 31,314	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	34,749,000	0	34,749,000	28,461,821	6,287,179	
差引	0	0	0	6,384,233	△ 6,384,233	

自主事業費収入	0	0	0	103,400	△ 103,400	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0	0	0	423,921	△ 423,921	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 320,521	320,521	

管理許可・目的外使用許可収入			0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0	4,200	△ 4,200	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	△ 4,200	4,200	

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市若葉台地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	1500000	2639000	-1139000	3500000	35879478	-879478	93000000	79776112	13223888	4300000	2975488	1324512	
	その他	1651000	0	1651000	1128000	1225650	-97650	0	6733886	-6733886	0	208591	-208591	
	介護予防ケアマネジメント費	1500000		1500000	1128000	61950	1066050		240646	-240646			0	
	事業・負担金収入	151000		151000		0	0		6304020	-6304020		208591	-208591	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
	その他			0	0	1163700	-1163700		189220	-189220				0
	収入合計(A)	3151000	2639000	512000	36128000	37105128	-977128	93000000	86509998	6490002	4300000	3184079	1115921	
	支出	人件費	20200000	0	20200000	24000000	25274801	-1274801	720000000	74328931	645671069	0	0	0
事務費		360000	0	360000	1800000	1569935	230065	4780000	5682426	-902426	0	0	0	
事業費		550000	0	550000	2550000	3268544	-718544	12500000	13897973	-1397973	0	0	0	
管理費		1463000	0	1463000	0	2366183	-2366183	2000000	2366183	-366183	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0	0	0	182026	-182026	0	0	0	
利用者負担軽減額		0	0	0			0		58026	-58026			0	
消費税		0	0	0			0		124000	-124000			0	
介護予防プラン委託料		0	0	0			0			0			0	
				0			0			0			0	
その他				0			0			0			0	
支出合計(B)	22573000	0	22573000	28350000	32479463	-4129463	91280000	96457539	642822461	0	0	0		
収支 (A)-(B)	-19422000	2639000	-22061000	7778000	4625665	3152335	1720000	-9947541	-636332459	4300000	3184079	1115921		

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②参加人数(延べ) ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ゆるやか体操	①75歳以上の高齢者	317656	地活	17056	300600 (300×1002)	0	210000	107656	0
	②1002名		包括						
	③300円		介護						
			生活						
らくらく体操	①75歳以上の高齢者	210000	地活	14000	196,000 (200×980)	0	210000	0	0
	②980名		包括						
	③200円		介護						
			生活						
はじめてのピラティス	①地域住民(子育て)	5600	地活	5300	300 (300×1名)	0	5000	600	0
	②20名		包括						
	③保育1名300円		介護						
			生活						
精神障がい者サロン・もぐもぐ	①精神に不安のある方	18936	地活	6936	12000 (200×19+200×ボラ41名)	0	0	18936	0
	②19名		包括						
	③200円		介護						
			生活						
歌声広場	①地域住民	87189	地活	28389	58800 (150×392)		60000	27189	0
	②392名		包括						
	③150円		介護						
			生活						
ゆっくりノルディック	①歩行不安のある方	46680	地活	46,680	0	0	45000	0	1680
	②77名		包括						
			介護						
			生活						
孫育て講座	①地域住民	40543	地活	40543	0	0	40000	0	543
	②19名		包括						
			介護						
			生活						
ク〜ル来〜る広場	①地域住民	60867	地活	35267	25600 (イベント200×19・100×1 カレー200×88 飲み物100×19+50×44)	0	6000	54867	0
	②130名		包括						
	③飲食代、イベント参加料		介護						
			生活						
土曜コンサート	①地域住民	132355	地活	132355	0	0	103000	29355	0
	②1036名		包括						
			介護						
			生活						
リフレッシュピラティス	①地域住民(子育て)	56400	地活	34400	22000 (200×47+300×42)	0	30000		26400 (保育料600×44)
	②48名		包括						
	③200円+保育300円		介護						
			生活						
福祉フェア	①地域住民	82672	地活	13072	0	69600	0	82672	0
	②190名		包括						
			介護						
			生活						
歌と落語の会	①地域住民	15000	地活	15000	0	0	15000	0	0
	②108名		包括						
			介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②参加人数(延べ) ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ボランティア交流会	①地域住民	5098	地活	5098	0	0	0	5098	0
	②31名		包括						
			介護						
			生活						
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	①65歳以上の地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②27名		包括						
			介護						
			生活						
若葉台中学校地域交流の日	①若葉台中学校生徒	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②170名		包括						
			介護						
			生活						
ジュニアボランティア講習会	①地域の小学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②20名		包括						
			介護						
			生活						
パン工房わかば	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②784名		包括						
	パン購入代		介護						
			生活						
孫子老の日 中学生車いす講座	①地域の中学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②14名		包括						
			介護						
			生活						
けあぷらカフェいこい	①地域住民	17626	地活						
	②203名		包括	2126	15500	0	0	17626	0
	③コーヒー代100円		介護		(100×155)				
			生活						
歌って健康!	①65歳以上	144000	地活						
	②293名		包括	56100	87900	0	144000	0	0
	③参加費300円		介護						
			生活						
コミハ健康講座 &出張相談	①高齢者・地域住民	6720	地活						
	②11名		包括	6720	0	0	0	0	6720
			介護						
			生活						
介護者のつどい	①地域住民	0	地活						
	②18名		包括	0	0	0	0	0	0
			介護						
			生活						
ゆずりは出前講座	①ゆずりは会会員	0	地活						
	②112名		包括	0	0	0	0	0	0
			介護						
			生活						
エンディングノート 活用講座	①地域住民	0	地活						
	②65名		包括	0	0	0	0	0	0
			介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②参加人数(延べ) ③一人当たり参加費	自主事業決算額						
		総経費	収入			支出		
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
横浜旭中央総合病院 市民公開講座	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②92名		包括					
			介護					
			生活					
男性のためのGOGO 健康講座	①65歳以上の男性	89942	地活	0	0	77000	12942	0
	②165名		包括					
			介護					
			生活					
GOGO健康講座 2018	①65歳以上の地域住民	39091	地活	0	0	37000	2091	0
	②54名		包括					
			介護					
			生活					
ロコモ予防教室	①自主グループ	10000	地活	0	0	10000		0
	②17名		包括					
			介護					
			生活					
体力測定	①自主グループ	15000	地活	0	0	15000	0	0
	②17名		包括					
			介護					
			生活					
認知症サポーター 養成講座	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②122名		包括					
			介護					
			生活					
ボランティア講座 「あなたも聞き上手」	①地域住民	5000	地活	0	0	5000	0	0
	②15名		包括					
			介護					
			生活					
ボランティア講座 「個人情報基本のき」	①地域住民	15000	地活	0	0	15000	0	0
	②12名		包括					
			介護					
			生活					
男性のための井戸端会議	①男性高齢者	0	地活	0	0	0	0	0
	②5名		包括					
			介護					
			生活					
救急救命講座	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②5名		包括					
			介護					
			生活					
二丁目南自治会 車いす講習会	①二丁目南自治会会員	0	地活	0	0	0	0	0
	②9名		包括					
			介護					
			生活					
合同歌声喫茶2018	①旭区住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②449名		包括					
			介護					
			生活					

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数(延べ)	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
旭ふれあい区民まつり 行政PRコーナー出展事業	①旭区住民	345	地活	345	0	0	0	0	345
	②450名		包括						
			介護						
			生活						
障害児の理解・災害時 の対応勉強会	①地域住民	20000	地活	20000	0	0	20000	0	0
	②41名		包括						
			介護						
			生活						
旭区自立支援協議会 あっぱれフェスタ	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②733名		包括						
			介護						
			生活						
貸館利用団体発表会	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②257名		包括						
			介護						
			生活						
千羽鶴繫げボランティア	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②10名		包括						
			介護						
			生活						
若葉台小学校6年1組 福祉体験	①若葉台小学校生徒	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②89名		包括						
			介護						
			生活						
くぬぎおしゃべり会	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②44名		包括						
			介護						
			生活						
第11回旭区地域支援 フォーラム	①旭区住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②100名		包括						
			介護						
			生活						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆるやか体操	75歳以上の高齢者を対象に椅子に座って出来る介護予防体操教室と茶話会。 目的：高齢者の健康作り・住民間の関係づくり	毎週月曜日・年42回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく体操	75歳以上の高齢者を対象に椅子に座って出来る介護予防体操教室。 目的：高齢者の健康づくり	毎週月曜日・年42回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はじめてのピラティス	地域の子育て中の保護者がリラックスできるピラティス講座。わかば子育てサポートグループによる保育付き。 目的：地域の子育て中の保護者の健康づくり	6月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
精神障がい者サロン.もぐもぐ	精神に不安のある方の居場所づくり。 目的：精神障がい者の余暇支援を行う	毎月1回・年11回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声広場	童謡、唱歌、流行歌を皆で歌う。ティータイムもある。 目的：歌を歌うことによる健康づくりと古い歌を歌い回想法による脳の活性化を図る	毎週第4金曜日・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆっくりノルディック	歩行に不安のある方や、ストックをうまく扱えていない方に向けた初級講座。 目的：地域住民に向けた健康作りと閉じこもり防止	毎週第4金曜日・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
孫育て講座	現在の出産・育児・子育てについて学ぶ講座。 目的：孫育てで孤立しないように、子育て世代への理解を深め、地域で子育てをすることの意識付け	4月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ク〜ル来〜る広場	自宅のエアコン消費電力を抑えて、集まって過ごせる場を提供。カレー、コーヒー、手工芸、ノルディック体験などを実施。 目的：電気消費量の軽減と地域住民の多世代交流の場の提供	8月・年1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
土曜コンサート	多目的ルームを利用した演奏会などのイベント。 (4月)三味線コンサート(5月)横浜国大吹奏楽団コンサート (6月)二胡コンサート(7月)童謡コンサート(9月)貸し館利用 団体発表会(10月)オータムコンサート～純とその仲間たち ～ (11月)ヴァイオリンコンサート(1月)新春演歌ショー(3月) マンドリンコンサート 目的：地域住民に向けての交流事業、また高齢者の閉じこ り防止とケアプラザの周知	月1回・年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リフレッシュ ピラティス	地域の子育て中の保護者がリラックスできるピラティス講 座。わかば子育てサポートグループによる保育付き。 目的：地域の子育て中の保護者の健康づくり	毎月1回・年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉フェア	地域住民の活動の発表の場や、障がい児・者団体や地域で 活動する配食団体等による食事提供の場、ケアプラザの紹 介の場などにすることで健康福祉を推進する。今年度は体 力測定、童謡カルタ、福祉用具展示など高齢者のみなら ず、幅広い世代に楽しんでもらえるように実施した。 目的：地域住民と地域で活動する障がい児・者団体等が交 流 できる機会をつくる。地域に対するケアプラザの周 知	10月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌と落語の会	落語と歌を楽しむ会 目的：歌を歌うことによる健康づくりと落語を楽しむ	12月・年1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	地域でボランティア活動をしている方や興味のある方に集まってもらい、意見交換や情報共有を実施。 目的：地域で活動する個人・団体ボランティアの双方での情報の共有と、これからボランティアを始めたい人へのきっかけづくり	2月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	よこはまシニアボランティア登録研修会テキストに基づく講義。 目的：よこはまシニアボランティア登録に必要な研修を実施し、地域住民がいきいきと活動を行えるように支援する	6月・9月・12月・3月 ・年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若葉台中学校地域交流の日	中学生に対して、認知症サポーター養成講座、車いす体験、高齢者疑似体験、白杖の説明の実施。 目的：中学生が福祉に接する機会をつくり、地域に対する福祉保健の推進を図る	11月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジュニアボランティア講習会	ジュニアボランティアの小学5.6年生を対象に、車いす講習会及び高齢者疑似体験キットを使用した講習会。 目的：地域の子供達が福祉についての知識や理解を深める機会づくり	8月・年1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パン工房わかば	わかば学園の生徒によるパンの販売と学校紹介。生徒の職業体験。 目的：パン販売を通して生徒の職業意識を高めると共に地域の方に若葉学園を知っていただく機会	毎月3回程度(火曜日・金曜日)・年29回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
孫子老の日 中学生車いす講座	地区社協の事業「孫子老の日」に参加する中学生に車いすの使用方法や注意点について講習会を実施。 目的：地域の中学生を対象に、福祉についての知識や理解を深めてもらう機会づくり。	9月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
けあふらカフェ いこい	ボランティアを中心に運営をする認知症カフェ。 目的：認知症の方とその家族が地域の人と交流でき、専門家に相談できる機会	毎月第2日曜日・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌って健康！	音楽を通じた健康作り教室。懐かしい音楽とともに脳トレや体操を行う。 目的：介護予防の普及・啓発を図る	毎月1回・年12回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コミハ健康講座 &出張相談	コミュニティーハウスで体操・脳トレ・口腔ケア・相談コーナー。 目的：ケアプラザまで距離のある地域の方への相談の窓口と 介護予防の普及・啓発を図る	毎月1回・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	家族の介護をしている人、介護経験のある人、介護に関心のある人を対象とした茶話会、施設見学会、医師を招いての懇談会など、福祉や介護の情報を提供する。 目的：介護者へ福祉や介護の情報を提供し、介護者同士の情報交換や気分転換を図る	5月～11月・年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆずりは出前講座	地域包括支援センターの紹介。介護予防、認知症予防、転倒予防、消費者被害等の予防、啓発について講座を実施する。 目的：出前講座を通じて介護予防の意識を高める。福祉や介護の情報の提供	6月・11月・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンディングノート活用講座	エンディングノートの書き方の講習を通し、講師による介護保険制度、成年後見制度、遺言・相続などについての講座。 目的：旭区版エンディングノートを活用して、書き方の講習 権利擁護の啓発	9月～10月・年3回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜旭中央 総合病院 市民公開講座	地域の医療機関である横浜旭中央総合病院の医師が、一般住民にわかりやすく疾病について解説する。 ・脳卒中について ・放射線検査について～CT・MR検査など～ 目的：地域住民に専門医による身近な疾病について講座受講の機会をつくる	5月・11月・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のための GOGO健康講座	高齢男性を対象とした健康講座(ロコモ予防体操・栄養講座・口腔ケアを組み入れた年間コース)。 目的：介護予防の普及・啓発を図る	毎月1回・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康講座 2018	高齢者を対象とした健康講座(年5回コース)。 目的：介護予防の普及・啓発を図る	5月～7月・年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ロコモ予防教室	自主グループの活動の活性化を図るとともに、健康維持を促進。 目的：運動機能維持のための体操等。	5月・年1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
体力測定	ケアプラザ事業から自主化したグループの活動支援として体力測定を行う。 目的：自分の体力を認識し、今後の活動に必要な体力の維持 ・向上を目安とする	10月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	一般住民、ジュニアボランティアを対象とした認知症サポーター養成講座(認知症についての講義、寸劇)。 目的：認知症についての知識を深め、実際の対応方法を学ぶ	4月、10月、11月・年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座 「あなたも聞き上手」	ボランティア活動者が技術を高め、情報を得る場として実施。 ・ほめ合いトレーニング ・「聴く」「聞く」の違いを学ぶ ・自己紹介、他己紹介 目的：地域でボランティア活動を行なっている方がコミュニケーションのとり方、相手の話を聴くコツを学び、後の活動に活かす。	5月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座 「個人情報基本のき」	ボランティア活動者が技術を高め、情報を得る場として実施。 ・個人情報を性格別に考える ・「本人が知らないところで緩やかな見守り、話し合いをしてもいいの？」 ・要援護者の心理学 目的：ボランティア活動、地域活動に携わる方を対象に、個人情報保護の基本的な考え方と取り扱いのポイントを	8月・年1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性のための 井戸端会議	高齢男性の日常生活について情報交換する。 目的：高齢男性(特に独居の方)が気軽に参加できる居場所づくりの検討	3月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
救急救命講座	地域でボランティア等で活動する方に対して、救急対応の講座を実施。消防署や地域の消防団が講師。 目的：地域活動の安定、活性化。	11月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
二丁目南自治会 車いす講習会	地域の自治会に出向き、車いすの操作や注意点について講習会を実施。 目的：地域住民を対象に福祉についての理解を深める機会づくり。	6月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶 2018	区内ケアプラザとボランティア団体・歌声喫茶オアシスと実行委員会形式で運営。 目的：歌好きな方が集まって仲間作りや健康作り、また外出の機会をつくることでひきこもり予防。区内全ケアプラザの周知。	5月・年1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり行政PRコーナー出展事業	<p>地域福祉保健計画の推進とケアプラザ機能の周知。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の居場所、多世代交流、子育てサロンの3つをテーマに各ケアプラザ圏域の取組を紹介。 ・パネル掲示した活動について意見募集と啓発物配布。 <p>C P機能周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯を中心とした多世代交流プログラムの実施（輪投げ）。 ・関連ブース（子育て関連）との連携、スタンプラリーの実施。 	10月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児の理解・災害時の対応勉強会	<p>瀬谷区発達障害啓発グループあんとままより講師を呼び、民生児童委員を中心とした地域住民とともにケアプラザ職員が講座を受けた。</p> <p>目的：地域住民とケアプラザ職員がともに地域内にある障害児者について学ぶとともに、災害時にどのような事を意識する必要があるのか情報を共有する事</p>	8月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭区自立支援協議会あっぱれフェスタ	<p>旭公会堂にて実施のイベント。障害事業所による物品の販売や、当事者を中心としたグループによる舞台発表。</p> <p>目的：旭区内の障害分野について、地域住民に啓発・周知を行うこと</p>	7月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館利用団体発表会	<p>貸館を利用している団体が発表を行う。</p> <p>目的：当施設で活動する団体の発表の場を作ること及び活動意欲の向上。</p>	9月・年1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
千羽鶴繫げボランティア	折り鶴を繫げるボランティア。 目的：当施設より平和祈念を目的に長崎や大船に送る千羽鶴を繫げる事をボランティアの活動の場として実施。	6月・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若葉台小学校6年1組福祉体験	若葉台小学校6年1組が実施する地域と交流する授業の中で、継続的に関わりを持ち、デイサービス体験や認知症理解、障害体験、生徒が考えたレクリエーションの実施等を行った。 目的：小学生に対する福祉意識の啓発。思いやる心の育成。	10月～3月・年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くぬぎおしゃべり会	定例会に参加し、講話や体操を実施。 目的：地域に出向いての地域住民への詐欺被害啓発や健康維持への協力。	10月・3月・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第11回旭区地域生活支援フォーラム	旭公会堂にて「だれかの“いいね”になりたくて～お互いを知ることからはじめよう～」をテーマに開催。 第1部 事例報告 第2部 シンポジウム 目的：一般の方を含めた地域の方を対象に、障害者福祉の問題をテーマにした講演会を開催し、理解を広めること	12月・年1回